

 評価のポイント

CL-新人.専門的、倫理的、法的な実践能力

〔1-新人〕 こどもの権利の基本

① **子どもの権利条約において、こどもの意見表明権とはどのようなものですか？ また、病院での関わりにおいて、それが脅かされている事には、どのようなことが挙げられますか？**

1. 子どもの権利条約第 12 条（意見表明権）に該当し、例）幼いこどもや障害児は一律説明しても分からないと決めつけていたりしないか

② **倫理原則の 6 つを挙げてください**

2. 自律・善行・無害・正義・誠実・忠誠

③ **検査における「抑制と拘束」について、倫理的にどのような配慮事項があるでしょうか？**

3. 例）幼いこどもは一律に、この検査では、暴れる拒否すると決めつけ、発達段階に応じた説明もなく、説明時の工夫（タイミングや物など）、保護者の協力も検討せず、催眠鎮静薬使用や、押さえつけや抑制・拘束で、大人への信頼を失い治療等に恐怖心を植え付けたり、その後のこどもの理解や協力が得られなくなる可能性がある。

④ **合理的配慮とは、どのような事を言うでしょうか？**

4. 障害のある人の活動などを制限しているバリアを取り除く必要があり、具体的には、個々の場面で、障害者から「社会的なバリアを取り除いてほしい」旨の意思の表明があった場合に、その実施に伴う負担が過重でないときに、社会的なバリアを取り除くために必要かつ合理的な配慮を講ずること（医療的ケアがあり重い障害があるが、特別支援学校ではなく小学校の特別支援学級に入学させたい）